

競輪事業特別会計（議案第4号）

（1）歳入

（単位：千円、％）

	平成 29 年度 当初予算額 A	構成比	平成 28 年度 当初予算額 B	構成比	(A-B)/B	備 考
競 輪 事 業 収 入	16,895,157	99.4	11,866,326	98.9	42.4	
入 場 料	947	0.0	916	0.0	3.4	
勝 者 投 票 券 発 売 金 額	16,880,000	99.3	11,850,000	98.8	42.4	
通 常 競 輪 開 催 事 業 分	10,580,000	62.2	5,350,000	44.6	97.8	
記 念 競 輪 開 催 事 業 分	6,300,000	37.1	6,500,000	54.2	△3.1	
払 戻 金 切 捨 収 入	14,200	0.1	15,400	0.1	△7.8	
過 誤 収 入	10	0.0	10	0.0	0.0	
財 産 収 入	860	0.0	652	0.0	31.9	
競 輪 事 業 基 金 収 入	860	0.0	652	0.0	31.9	
雑 収 入	103,683	0.6	132,722	1.1	△21.9	
使 用 料	16,883	0.1	28,963	0.2	△41.7	
雑 収 入	86,800	0.5	103,759	0.9	△16.3	
うち 事務協力費及び業務代行費	20,000	0.1	35,000	0.3	△42.9	
うち 払戻金及び返還不能収入	15,936	0.1	13,263	0.1	20.2	
繰 越 金	100	0.0	100	0.0	0.0	
繰 入 金	200	0.0	200	0.0	0.0	
歳 入 合 計	17,000,000	100.0	12,000,000	100.0	41.7	

（2）歳出

（単位：千円、％）

	平成 29 年度 当初予算額 A	構成比	平成 28 年度 当初予算額 B	構成比	(A-B)/B	備 考
総 務 費	170,197	1.0	231,394	1.9	△26.4	
一 般 管 理 費	66,545	0.4	80,691	0.7	△17.5	
施 設 費	103,652	0.6	150,703	1.2	△31.2	
競 輪 開 催 費	16,821,443	98.9	11,760,559	98.1	43.0	
競 輪 振 興 法 人 交 付 金	413,444	2.4	299,289	2.5	38.1	
通 常 競 輪 開 催 事 業 分 等	199,192	1.2	80,477	0.7	147.5	
記 念 競 輪 開 催 事 業 分	139,227	0.8	143,787	1.2	△3.2	
競 輪 振 興 法 人 交 付 金（延納分）	75,025	0.4	75,025	0.6	0.0	
開 催 費	16,165,474	95.1	11,275,075	94.0	43.4	
うち 通 常 競 輪 開 催 事 業 分	10,412,139	61.2	5,367,951	44.7	94.0	
うち 従 事 員 賃 金	28,207	0.2	25,355	0.2	11.2	
うち 選 手 賞 金	497,036	2.9	417,036	3.5	19.2	
うちの 中 車 券 払 戻 金	7,935,000	46.7	4,012,500	33.4	97.8	
うち 記 念 競 輪 開 催 事 業 分	5,753,335	33.9	5,907,124	49.3	△2.6	
うち 従 事 員 賃 金	75,000	0.4	100,000	0.8	△25.0	
うち 選 手 賞 金	82,072	0.5	80,178	0.7	2.4	
うちの 中 車 券 払 戻 金	4,725,000	27.8	4,875,000	40.6	△3.1	
広 告 宣 伝 費	242,525	1.4	186,195	1.6	30.3	
通 常 競 輪 開 催 広 告 宣 伝 費 分	183,713	1.1	126,861	1.1	44.8	
記 念 競 輪 開 催 広 告 宣 伝 費 分	58,812	0.3	59,334	0.5	△0.9	
諸 支 出 金	0	0.0	295	0.0	皆減	
諸 費	0	0.0	195	0.0	皆減	
公 営 競 技 納 付 金	0	0.0	100	0.0	皆減	
公 債 費	2,500	0.0	2,100	0.0	19.0	
利 子	2,500	0.0	2,100	0.0	19.0	
繰 上 充 用 金	0	0.0	0	0.0	?	
諸 支 出 金	860	0.0	652	0.0	31.9	
基 金 費	860	0.0	652	0.0	31.9	
予 備 費	5,000	0.1	5,000	0.0	0.0	
歳 出 合 計	17,000,000	100.0	12,000,000	100.0	41.7	

- 平成29年度競輪事業特別会計当初予算規模の総額は、歳入歳出総額170億円となっており、平成28年度当初予算の歳入歳出総額120億円に比べ、41.7%、額にして50億円増加しております。これは、平成30年3月23日から3日間の予定で国際自転車トラック競技支援競輪（GⅢ）が、また同じく平成29年度下半期に西日本カップ（FⅠ）の開催が予定されていることによるもので、歳入では勝者投票券発売金額を計上している開催収入の増加、歳出ではそれに伴う払戻金を中心とする開催経費の増加をそれぞれ見込んだことによるものです。

歳入について

- 開催日数については、グレードレースが、毎年開催している記念競輪の4日に加え、国際自転車トラック競技支援競輪（GⅢ）の実施により7日となります。FⅠ競輪については前年度と同じ6節18日。FⅡ競輪については、小松島競輪場で行う6節18日に加え、昨年度に引き続き高知競輪場を借りて通常のFⅡ開催より3日多い1開催6日制のミッドナイト競輪を2開催行うことを予定していることから12日、合計で55日の開催を予定しております。場外は、GP・GIやGⅡ、記念競輪等のGⅢを中心に、西日本カップやS級開催でありますFⅠの発売を予定しております。
- 開催収入である競輪事業収入については、総額で168億9千515万7千円を計上しております。売上げ見込みとして開設67周年記念競輪開催事業分で、全国的な売上の動向や前年度の売上実績を念頭に2億円減少し63億円を見込んでおります。また通常競輪開催事業分については、国際自転車トラック競技支援競輪（GⅢ）や西日本カップ（FⅠ）の開催により、前年度より52億3千万円多い105億8千万円を見込んでおります。
- 雑収入については、小松島競輪場での場間場外発売における売上の減少に伴う収益の減少を見込み、前年度比21.9%減の1億368万3千円を計上しております。
- そのほか、平成28年度当初予算に引き続き、前年度からの繰越金として10万円、2つの基金からの繰入金を各10万円ずつ計上しております。

歳出について

- 総務費については、昨年度の予算に計上していた事務所北側駐車場用地の購入費6千万円が減少したことにより、通常の一般事務費や施設設備の維持補修費等の計上に戻ったことから26.4%減の1億7千19万7千円を計上しております。
- 競輪開催費については、国際自転車トラック競技支援競輪（GⅢ）や西日本カップ（FⅠ）の開催により勝者投票券発売金額が増加することが見込まれることから、払戻金を中心とする開催経費の増加を見込み、前年度に比べ43.0%増の168億2千144万3千円を計上しております。
- 競輪振興法人交付金については、勝者投票券発売金額を基本に算定されることから、通常開催分等については、国際自転車トラック競技支援競輪（GⅢ）や西日本カップ（FⅠ）の開催により勝者投票券発売金額が増加することが見込まれることから、前年に比べ147.5%増の1億9千919万2千円を計上する一方、記念競輪分では全国的な売上の動向や前年度の売上実績を念頭に勝者投票券発売金額の減少が見込まれていることから、前年に比べ3.2%減の1億3千922万7千円を計上しております。また、昨年同様、これまで猶予されてきた交付金の均等返還分として7千502万5千円を計上した結果、交付金全体では、38.1%増の4億1千344万4千円を計上しております。
- 開催費については、競輪振興法人交付金と同様の理由から、通常開催分について、前年に比べ94.0%増の104億1千213万9千円を計上する一方、記念競輪分では、前年に比べ2.6%減の57億5千333万5千円を計上しております。また、昨年に引き続き、競輪業務を民間企業へ包括的に委託している競輪場が増加していることに伴い、従事員賃金については、国際自転車トラック競技支援競輪（GⅢ）の開催で、場間場外発売場が増えることが見込まれる通常競輪開催事業では11.2%増加となる2千820万7千円を計上しているものの、記念競輪開催事業で25.0%減となる7千500万円を計上しております。
- 広告宣伝費については、国際自転車トラック競技支援競輪（GⅢ）や西日本カップ（FⅠ）の開催により、映像発信やスポーツ紙への出走表の掲載などによる費用の増加が見込まれるため、前年度比30.3%増の2億4千252万5千円を計上しております。
- 諸支出金については、支出費目の見直しを行い、諸費で支出していた防火協力金については開催費から、公営競技納付金は交付金から、それぞれ支出するよう整理を行った結果、皆減となっております。
- 公債費については、金融機関からの一時借入金を、記念競輪開催資金で45億円、通常開催資金で30億円と見込み、一時借入金利子として250万円を計上しております。
- 基金費については、前年度比31.9%増となる86万円を計上しております。